

令和6年度

# 上尾市立小・中学校学力調査結果

(小学校:令和6年12月18日実施 中学校:令和7年1月10日実施)



《上尾市webサイト掲載用》

上尾市教育委員会

# 目 次

ページ

<b>I 学力調査実施の概要</b> .....	1
1 調査の趣旨	
2 調査対象	
3 調査実施日	
4 調査教科及び調査時間	
5 使用検査紙	
6 調査人数	
<b>II 学力調査結果の概要(経年比較)</b> .....	2
1 小学校(上尾市全体)	
(1) 同学年比較	
(2) 同グループ比較	
2 中学校(上尾市全体)	
(1) 同学年比較	
(2) 同グループ比較	
3 小学校(上尾市全体) 【グラフ】	
(1) 同学年比較	
(2) 同グループ比較	
4 中学校(上尾市全体) 【グラフ】	
(1) 同学年比較	
(2) 同グループ比較	
<b>III 考察</b> .....	4
1 標準スコアの結果から	
(1) 小学校	
(2) 中学校	
2 各問題の内容ごとの正答率の結果から	
(1) 小学校	
(2) 中学校	
<b>IV まとめ</b> .....	13

# I 学力調査実施の概要

## 1 調査の趣旨

本市児童生徒の学力の実態を把握するとともに、課題を明らかにして学習指導の改善を図ることにより、確かな学力を育成する。

## 2 調査対象

小学校 第2～6学年

中学校 第1～2学年

## 3 調査実施日

小学校：令和6年12月18日（水）

中学校：令和7年 1月10日（金）

## 4 調査教科及び調査時間

小学校：第2～6学年 国語（40分）、算数（40分）

中学校：第1～2学年 国語（45分）、数学（45分）、英語（45分）

※出題範囲は、当該学年で学習した内容

## 5 使用検査紙

「標準学力調査」（東京書籍株式会社）

## 6 調査人数

	国 語		算数・数学		英 語	
	調査 人数	実施率 [%]	調査 人数	実施率 [%]	調査 人数	実施率 [%]
小学校	8,512	96.0	8,515	96.1	—	—
中学校	3,100	90.0	3,100	90.0	3,100	90.0
合 計	11,612	94.3	11,615	94.4	3,100	90.0

## Ⅱ 学力調査結果の概要(経年比較)

※全国値の正答率を50.0とした場合の換算値

### 1 小学校(上尾市全体)

#### (1) 同学年比較

	全 体		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
令和6年度	49.4	49.0	49.7	50.6	50.3	48.5	49.8	49.5	48.8	48.3	48.4	48.2
令和5年度	49.6	48.9	48.7	48.6	49.4	49.5	50.2	48.3	51.0	50.2	48.8	47.8
本年度増減	-0.2	0.1	1.0	2.0	0.9	-1.0	-0.4	1.2	-2.2	-1.9	-0.4	0.4

#### (2) 同グループ比較

	第2学年→第3学年		第3学年→第4学年		第4学年→第5学年		第5学年→第6学年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
令和6年度	50.3	48.5	49.8	49.5	48.8	48.3	48.4	48.2
令和5年度	48.7	48.6	49.4	49.5	50.2	48.3	51.0	50.2
本年度増減	1.6	-0.1	0.4	0.0	-1.4	0.0	-2.6	-2.0

### 2 中学校(上尾市全体)

#### (1) 同学年比較

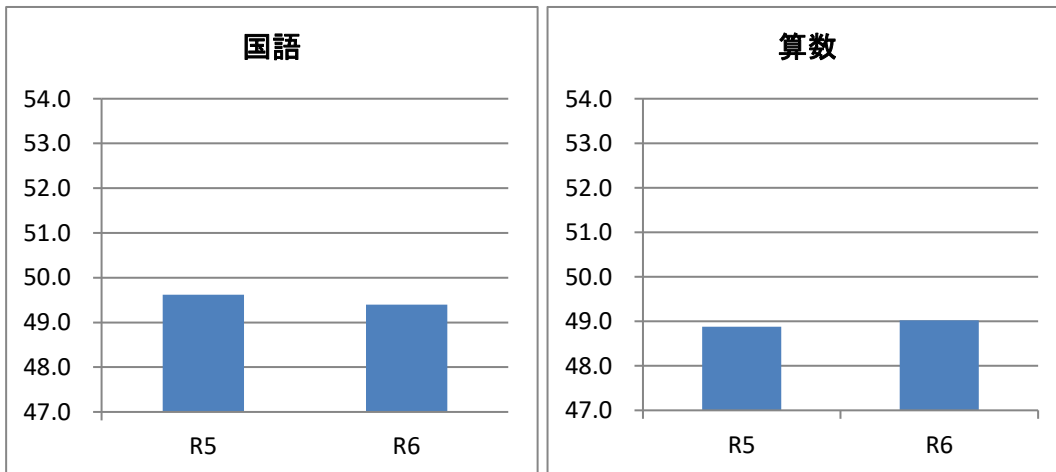
	全 体			第1学年			第2学年		
	国語	数学	英語	国語	数学	英語	国語	数学	英語
令和6年度	51.4	51.3	50.1	51.4	50.7	50.2	51.3	51.9	50.0
令和5年度	50.3	51.0	51.8	49.9	51.0	52.5	50.7	50.9	51.1
本年度増減	1.1	0.3	-1.7	1.5	-0.3	-2.3	0.6	1.0	-1.1

#### (2) 同グループ比較

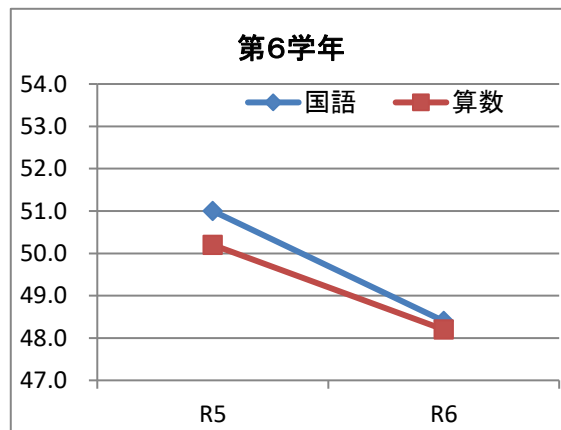
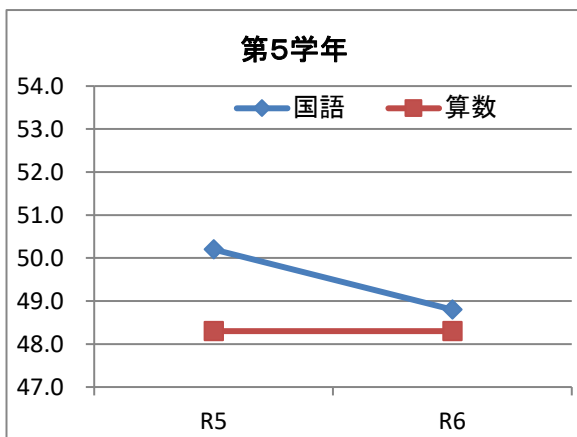
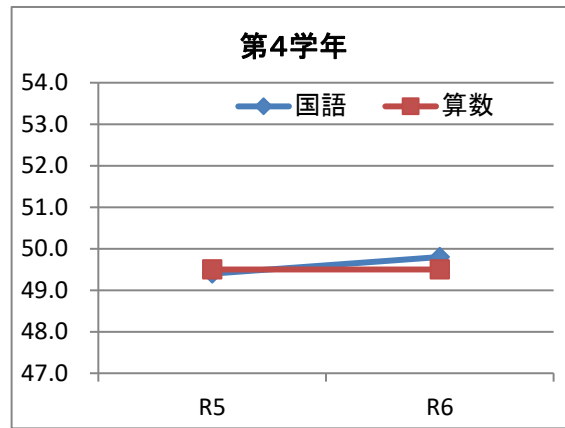
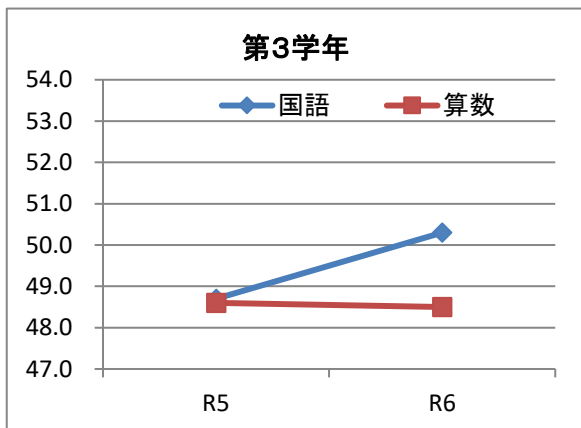
	第1学年→第2学年		
	国語	数学	英語
令和6年度	51.3	51.9	50.0
令和5年度	50.7	50.9	51.1
本年度増減	0.6	1.0	-1.1

### 3 小学校(上尾市全体)

#### (1) 同学年比較

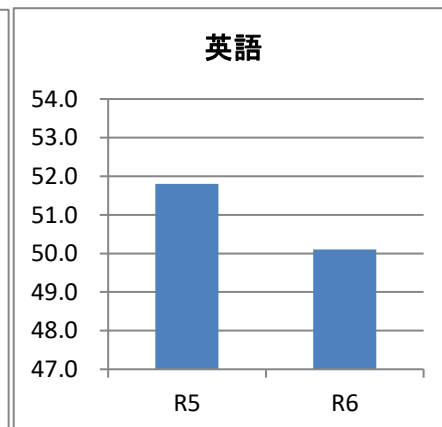
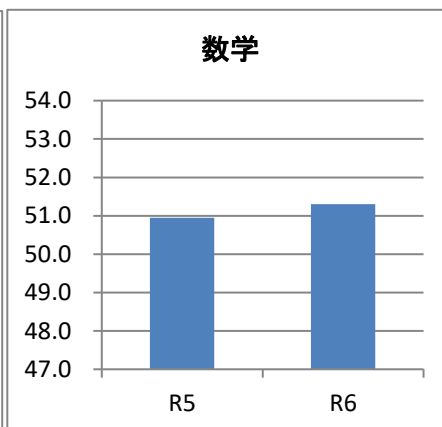
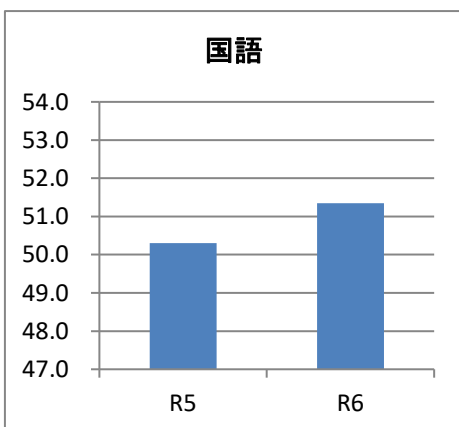


(2) 同グループ比較

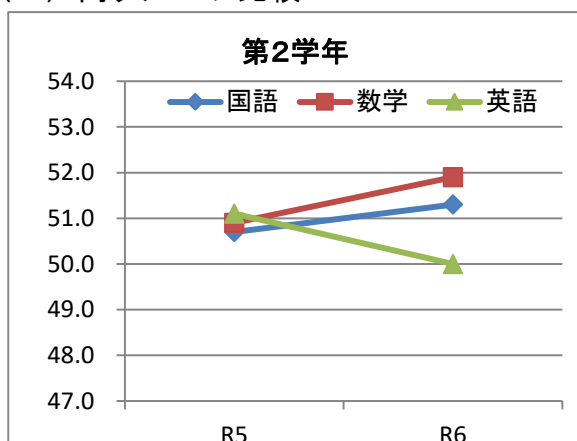


4 中学校（上尾市全体）

(1) 同学年比較



(2) 同グループ比較



### Ⅲ 考察

1 標準スコアの結果から ※標準スコアは全国値の正答率を50としたときの換算値

#### (1) 小学校

##### ア 同学年比較

	全 体		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
令和6年度	49.4	49.0	49.7	50.6	50.3	48.5	49.8	49.5	48.8	48.3	48.4	48.2
令和5年度	49.6	48.9	48.7	48.6	49.4	49.5	50.2	48.3	51.0	50.2	48.8	47.8
本年度増減	-0.2	0.1	1.0	2.0	0.9	-1.0	-0.4	1.2	-2.2	-1.9	-0.4	0.4

##### イ 同グループ比較

	第2学年→第3学年		第3学年→第4学年		第4学年→第5学年		第5学年→第6学年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
令和6年度	50.3	48.5	49.8	49.5	48.8	48.3	48.4	48.2
令和5年度	48.7	48.6	49.4	49.5	50.2	48.3	51.0	50.2
本年度増減	1.6	-0.1	0.4	0.0	-1.4	0.0	-2.6	-2.0

同学年比較では第3学年の算数、第4学年の国語、第5学年の国語と算数、第6学年の国語を除く学年、教科で昨年度を上回った。また、同グループ比較では、第3学年の国語、第4学年の国語において伸びが見られた。なお、第2学年の算数、第3学年の国語では、標準スコアが50を上回った。昨年度よりも数値を伸ばした学年、教科については、学力向上プランや学力調査結果等を活用するなどして授業改善、学習内容の習熟を図った取組が結果に表れたと考えられる。

#### (2) 中学校

##### ア 同学年比較

	全 体			第1学年			第2学年		
	国語	数学	英語	国語	数学	英語	国語	数学	英語
令和6年度	51.4	51.3	50.1	51.4	50.7	50.2	51.3	51.9	50.0
令和5年度	50.3	51.0	51.8	49.9	51.0	52.5	50.7	50.9	51.1
本年度増減	1.1	0.3	-1.7	1.5	-0.3	-2.3	0.6	1.0	-1.1

##### イ 同グループ比較

	第1学年→第2学年		
	国語	数学	英語
令和6年度	51.3	51.9	50.0
令和5年度	50.7	50.9	51.1
本年度増減	0.6	1.0	-1.1

同学年比較では第1学年の国語、第2学年の国語と数学において、昨年度の結果を上回った。また、同グループ比較では、国語と数学において伸びが見られた。なお、標準スコアについては、すべての学年、教科において標準スコアが50を上回っており、基礎的・基本的な学力は定着していると考えられる。

## 2 各問題の内容ごとの正答率の結果から

### (1) 小学校

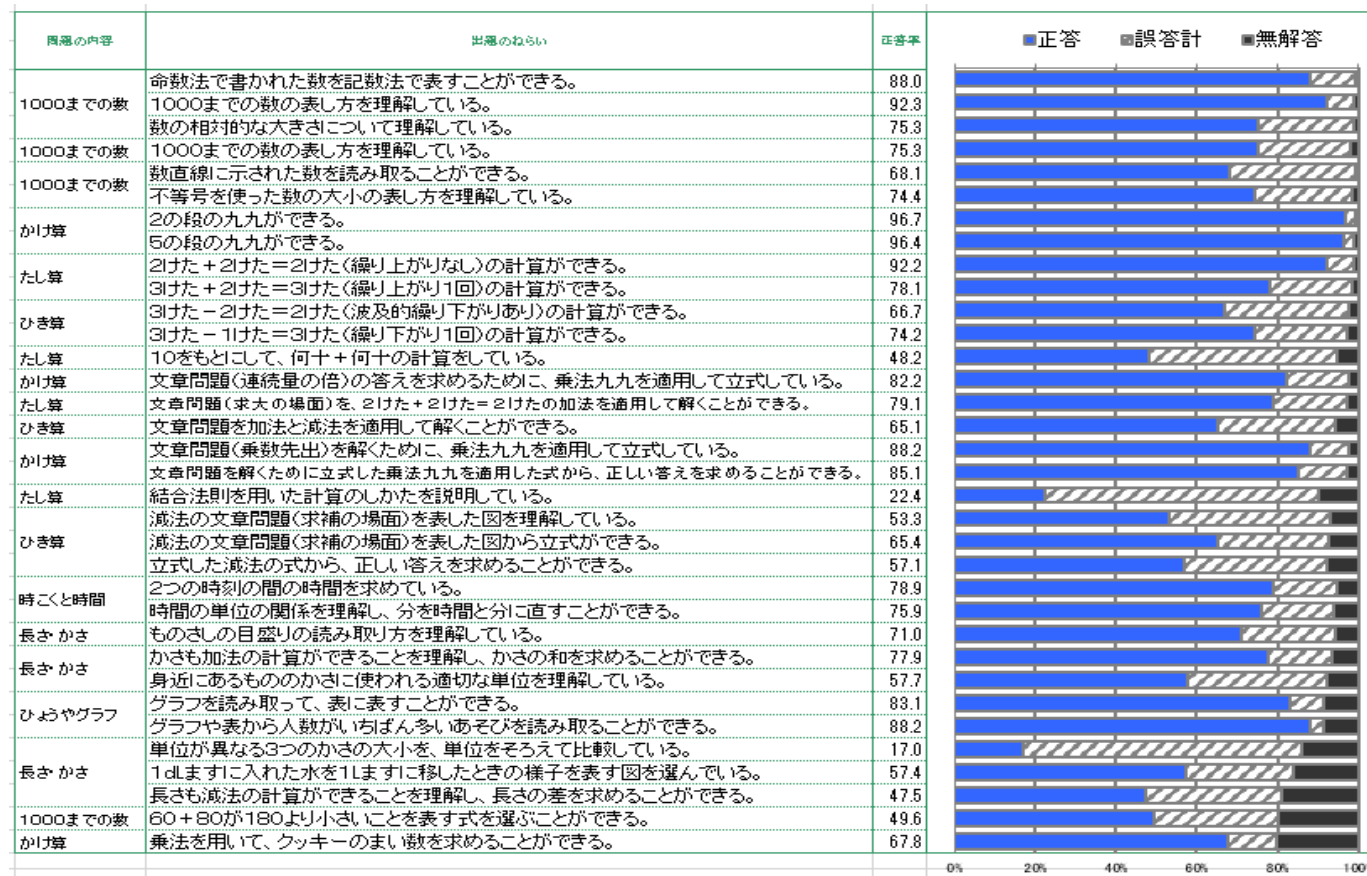
#### ア 第2学年

#### 【国語】



情報と情報との関係について理解し、相手の発言を受けて質問することに課題がある。指導にあたっては、尋ねたり応答したりしたりするなどの少人数の話し合い活動を取り入れるなどして、「話すこと」に関する指導事項と「聞くこと」に関する指導事項との関連を図ることが重要である。

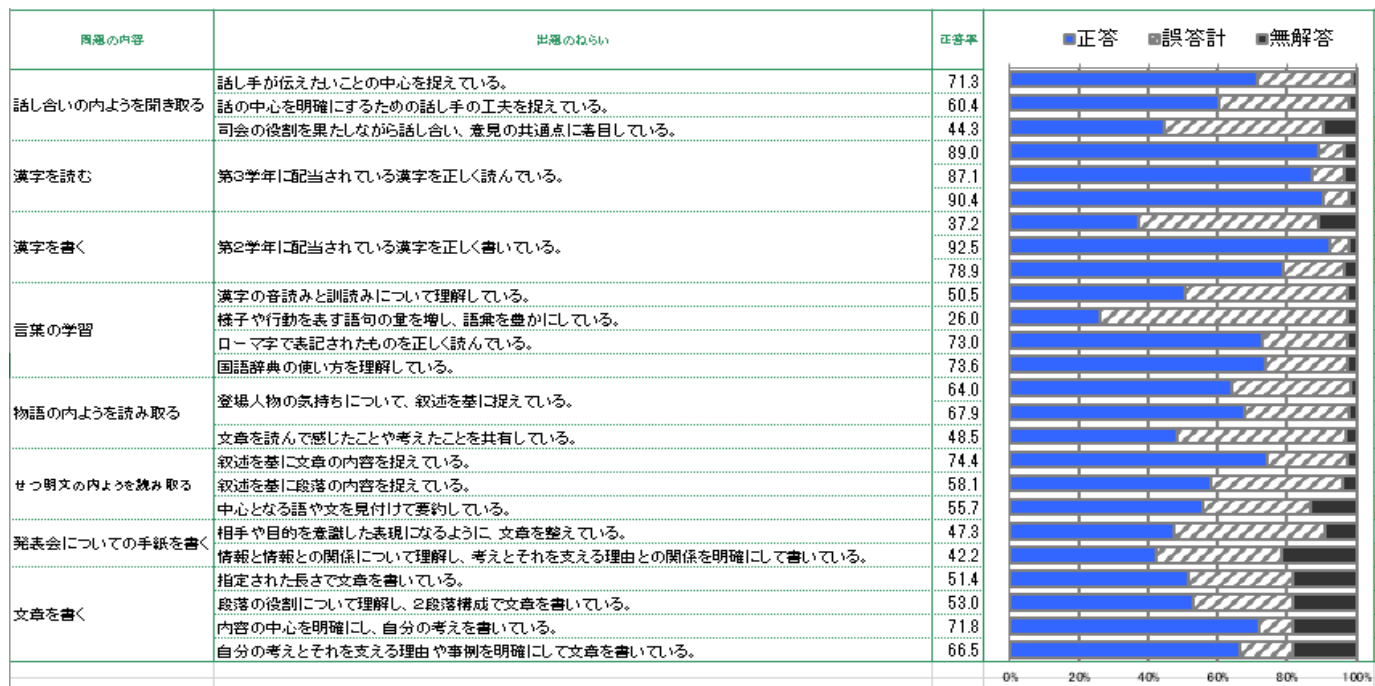
#### 【算数】



加法に関して成り立つ性質や、かさの単位の関係の理解に課題がある。加法に関して成り立つ性質の指導にあたっては、具体的な場面の文脈に沿って、図や式と関連付けながら理解できるようにすることが重要である。また、かさの単位の関係については、実際のかさの測定を通して、目盛りの仕組みや単位の意味を関連付けながら指導することが重要である。

# イ 第3学年

## 【国語】



様子や行動を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることに課題がある。指導にあたっては、授業の中で重点として示した語句のまとまりを中心としながら学習の中で必要な語句を取り上げたり、学習の中で語句を使うことを通じて、日常生活の中でも使いこなせる語句を増やし、習得させることが重要である。

## 【算数】



問題場面を数理的に捉えたり、式の根拠を説明したりすることに課題がある。問題場面を数理的に捉えるためには、問題場面を数や式、言葉、図などと関連付けながら説明する活動を充実させる必要がある。また、問題の解決過程を振り返り、その根拠を図や式などをもとに説明することも重要である。



ウ 第4学年

【国語】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■正答 ■誤答計 ■無解答
話し合いの内よを開き取る	話し手が伝えたいことの内容を捉えている。	96.1	
	話の中心を明確にするための話し手の工夫を捉えている。	72.8	
	司会の役割を果たしながら話し合い、意見の共通点に着目している。	84.1	
漢字を読む	第4学年に担当されている漢字を正しく読んでいる。	98.6	
		96.8	
		95.7	
漢字を書く	第3学年に担当されている漢字を正しく書いている。	61.6	
		64.3	
		86.8	
言葉の学習	主語と述語との関係について理解している。	62.6	
	連体修飾語について理解している。	66.9	
	ことわざの意味を知り、正しく使っている。	87.6	
	漢字辞典の使い方を理解している。	70.2	
	行動を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	34.4	
物語の内よを読み取る	登場人物の様子について、叙述を基に捉えている。	70.8	
	登場人物の気持ちについて、叙述を基に捉えている。	88.2	
	文章を読んで感じたことや考えたことを共有している。	75.3	
説明文の内よを読み取る	叙述を基に段落相互の関係を捉えている。	62.4	
	叙述を基に文章の内容を捉えている。	77.2	
	中心となる語や文を見つけて要約している。	30.7	
調べて分かったことを発表する	相手に伝わるように、事例を挙げながら話している。	55.5	
	情報と情報との関係について理解し、理由や事例などを挙げながら話している。	22.4	
	指定された長さで文章を書いている。	48.5	
文章を書く	段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書いている。	53.9	
	自分の考えを明確にして文章を書いている。	76.2	
	自分の考えとそれを支える理由や事例を明確にして文章を書いている。	66.8	

情報と情報との関係について理解し、理由や事例などを挙げながら話すことに課題がある。指導にあたっては、調べたことを話したり、それらを聞いたりする活動を取り入れるなどして、相手に伝わるように理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えさせることが重要である。

【算数】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■正答 ■誤答計 ■無解答
億と兆・が、数の表し方	命数法で書かれた数の記数法での表し方を理解している。	66.9	
	10倍にした数を求めることができる。	86.7	
	数直線上に示された大きい数の読み取り方を理解している。	83.3	
小数	小数のしくみを理解している。	81.4	
	小数を用いて長さの単位換算ができる。	58.5	
億と兆・が、数の表し方	ある位までの概数の表し方を理解している。	66.4	
	概数に対応する数の範囲を理解している。	70.9	
わり算	示された場面について、目的にあった数の処理の仕方を考察している。	73.0	
計算のきまり	文章問題を解くために立式した2けた÷1けた=2けた(余りあり)の式と計算結果から、余りの処理をして正しい答えを求めている。	76.4	
わり算	計算のきまりを使って、四則混合(加法・除法)の式の計算ができる。	74.0	
小数	3けた÷1けた=3けた(余りなし)の計算ができる。	46.5	
	3けた÷2けた=1けた(余りあり)の計算ができる。	57.7	
簡単な場合についての割合	小数第二位+小数第二位(=整数)の計算ができる。	83.2	
	整数-小数第二位の計算ができる。	62.8	
簡単な場合についての割合	基準量を求める除法の文章問題を表した図を選ぶことができる。	74.3	
計算のきまり	図を使って、基準量を求める除法の文章問題に合った立式ができる。	64.4	
計算のきまり	2つの数量の関係をもとに、もとの大きさの何倍になったかを考えて比べている。	59.4	
計算のきまり	計算のきまりを理解し、式に合った文章問題を選んでいる。	55.3	
計算のきまり	四則混合で( )を用いた式の計算順序を理解している。	82.1	
角の大きさ	分配法則を用いて計算している。	54.5	
角の大きさ	分度器の中に示された角の大きさを読み取ることができる。	69.6	
角の大きさ	三角定規を組み合わせることができる角の大きさを計算で求めている。	85.2	
垂直・平行と四角形	方眼を使った垂直な直線の見つけ方を理解している。	38.5	
垂直・平行と四角形	平行四辺形の作図ができる。	65.8	
折れ線グラフ	対角線の性質を用いて、ひし形を作図している。	69.3	
	折れ線グラフの縦軸の1目もりの大きさを理解している。	65.2	
垂直・平行と四角形	折れ線グラフを正しく読み取っている。	79.9	
角の大きさ	平行な直線と角の大きさの関係を理解している。	74.6	
垂直・平行と四角形	90°より大きい角を求めている。	77.5	
垂直・平行と四角形	平行四辺形の性質をもとに、できた四角形が平行四辺形であることを説明している。	25.6	
小数	示された考えをもとに、数の相対的な大きさを使って、小数の加法を整数の加法に直して処理する方法を説明している。	42.5	

図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目して、図形を考察することに課題がある。図形の指導にあたっては、図形の観察・弁別の過程で既習の図形を捉え直すことを自覚的に行うことが重要である。さらに、観察・弁別の過程で見出した図形の性質を意識しながら作図や構成を行うことで、図形に対する理解を深めていく。

エ 第5学年

【国語】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■正答 □誤答計 ■無解答
話し合いの内容を聞き取る	話し手の目的に応じて、話の内容を捉えている。	93.1	
	計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりするための工夫を捉えている。	72.0	
	互いの立場を明確にしながらい計画的に話し合い、考えをまとめている。	63.2	
漢字を読む	第5学年に担当されている漢字を正しく読んでいる。	98.4	
		89.3	
漢字を書く	第4学年に担当されている漢字を正しく書いている。	52.9	
		48.6	
		63.9	
言葉の学習	漢字の由来について理解している。	62.9	
	連用修飾語について理解している。	34.6	
	敬語について理解し、正しく使っている。	90.5	
	思考に関わる語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	95.5	
物語の内容を読み取る	文章の中で、文脈に沿った漢字を適切に使っている。	50.4	
	登場人物の心情について、描写を基に捉えている。	80.9	
	登場人物の様子について、描写を基に捉えている。	85.2	
説明文の内容を読み取る	文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。	39.3	
	叙述を基に文章の内容を捉えている。	75.8	
	文章全体の構成を捉えている。	84.8	
報告文を書く	目的に応じて、文章の情報を整理している。	46.8	
	表やグラフを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	84.8	
	情報と情報との関係について理解し、目的に応じて、文章を簡単に書いている。	65.1	
文章を書く	指定された長さで文章を書いている。	60.4	
	段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書いている。	58.8	
	資料から読み取った事実を書いている。	67.4	
	自分の意見を明確にして書いている。	49.9	

連用修飾語についての理解に課題がある。指導にあたっては、文を構成する語句に着目させ、「何を」や「いつ・どこで・どのように」などに当たる語句と、「～する」などに当たる語句との関係を明確にし、文の中での語句と語句の係り方について理解させていくことが重要である。

【算数】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■正答 □誤答計 ■無解答
整数のななめかけ	奇数について理解している。	80.0	
	公倍数について理解し、それを求めることができる。	76.7	
	最大公約数を適用して問題を解決している。	41.0	
分数と小数	小数を分数の形に直すことができる。	79.5	
	分数と小数の大小比較をしている。	64.1	
小数のかけ算・わり算	小数第一位×小数第一位の計算ができる。	70.4	
	小数第一位×小数第二位の計算ができる。	54.8	
	小数第一位÷小数第一位＝小数第二位(商が純小数)の計算ができる。	56.7	
分数のたし算・ひき算	真分数＋真分数＝真分数で、片方の分母にそろえる通分をする計算(約分あり)ができる。	82.8	
	帯分数－真分数＝真分数で、分母どうしをかける通分をする計算ができる。	56.5	
小数のかけ算・わり算	小数の乗法でも分配法則が成り立つことを理解している。	55.0	
小数のかけ算・わり算	図を見て、小数倍の文章問題(純小数倍、比較量を求める)を解くために乗法の立式をしている。	54.7	
小数のかけ算・わり算	図を見て、小数倍の文章問題(何倍かを求める)を解くために除法の立式をしている。	69.2	
小数のかけ算・わり算	小数第一位÷小数第一位の除法の式に合った文章問題を選んでいる。	46.4	
小数のかけ算・わり算	小数の除法(小数÷純小数)の文章問題を図に表している。	71.2	
体積	図を使って、小数の除法の文章問題に合った式を選んでいる。	50.7	
	立方体の体積を求める式を理解している。	49.7	
体積	直方体を組み合わせた形の体積を求めることができる。	59.8	
	体積の単位の関係を説明している。	45.5	
図形の角	三角形の3つの角の和を理解し、2つの角の大きさから1つの外角の大きさを求めることができる。	62.2	
	図に示された五角形の内角の和の求め方を表す式を選んでいる。	74.8	
合同	合同な図形の対応する辺の長さがわかる。	80.6	
合同	3辺の長さを使って、合同な三角形を作図することができる。	86.7	
単位数あたりの大きさ、比例	比例の関係を理解し、一方の値に対応する他方の値を求めることができる。	56.2	
単位数あたりの大きさ、比例	単位数あたりの大きさを求めて、どちらのセットの方が1冊あたりの値段が安いのかを説明している。	47.3	
小数のかけ算・わり算	単価が異なるBセットとCセットを1つずつ買ったときの、ノート1さつあたりの値段を求めている。	38.3	
	植物図鑑の厚さが、動物図鑑の厚さの何倍になっているかを求めることができる。	31.5	
	( )を用いた小数の式が、何を表しているのかを判断している。	55.6	
平均	厚さ5.4cmの辞書を、幅90cmの本欄に何冊並べることができるかを説明している。	11.0	
	値に0があり、答えが小数になる分数量の平均を求めることができる。	62.8	
	平均から全体の量を推測することができる。	34.4	

小数のかけ算やわり算を用いて具体的な場面を数理的に処理する過程を説明することに課題がある。身の回りには、小数で表された量が多く存在することから、そのような場面を算数の問題場面として適宜設定し、小数やその計算を日常生活で生かそうとする態度を育成することや、問題解決過程を振り返り、説明する活動を多く取り入れることが重要である。

# 才 第6学年

## 【国語】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■正答 ■誤答計 ■無解答
インタビューの内容を聞き取る	話の内容を捉えている。	98.3	
	意図に応じて、質問を工夫している。	90.9	
	自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えている。	71.3	
漢字を読む	第6学年に配当されている漢字を正しく読んでいます。	99.1	
		81.2	
漢字を書く	第5学年に配当されている漢字を正しく書いている。	98.8	
		32.6	
言葉の学習	三字の熟語の成り立ちについて理解している。	51.5	
	原因と結果など情報と情報との関係について理解している。	31.2	
	語句の由来に関心をもち、和語、漢語、外来語について理解している。	63.2	
	文と文との接続の関係を理解している。	71.3	
	敬語について理解し、正しく使っている。	34.6	
物語の内容を読み取る	登場人物の心情について、描写を基に捉えている。	48.7	
	登場人物の様子について、描写を基に捉えている。	71.4	
	物語の全体像を具体的に想像している。	71.8	
説明文の内容を読み取る	叙述を基に文章の内容を捉えている。	85.4	
	文章全体の構成を捉えている。	81.9	
図書たよりを作る	目的に応じて、文章の情報を整理している。	55.6	
	目的や意図に応じて、書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。	80.7	
	情報と情報との関係について理解し、目的に応じて、文章を簡単に書いている。	61.1	
文章を書く	指定された長さで文章を書いている。	69.5	
	段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書いている。	47.4	
	自分の意見とその理由を明確にして書いている。	60.8	
	予想される反論とそれに対する意見を書いている。	60.9	
		76.8	
		44.7	

漢字を正しく書くこと及び予想される反論とそれに対する意見を書くことに課題がある。漢字を書くことについては、配当漢字を漸次書き、文や文章の中で使用することが重要である。予想される反論とそれに対する意見を書くことについては、相手が意図することや話の内容を捉え、相手と自分の考えを比較しながら自分の考えをまとめ、表現することが重要である。

## 【算数】

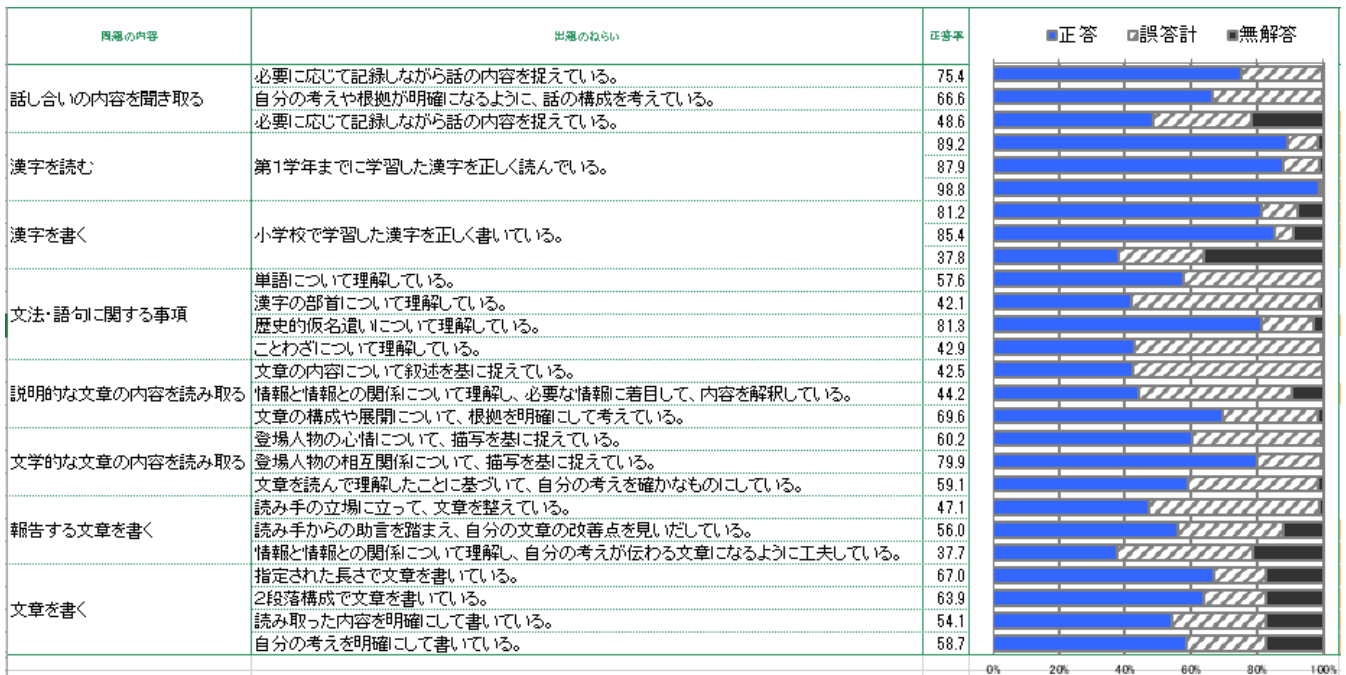
問題の内容	出題のねらい	正答率	■正答 ■誤答計 ■無解答
分数のかけ算・わり算	逆数について理解している。	62.2	
	分数の計算でも、分配法則が成り立つことを理解している。	74.8	
分数のかけ算・わり算	分数の乗数の大きさから、積と被乗数の大小を判断することができる。	58.4	
	真分数×真分数(約分なし)の計算ができる。	86.5	
分数のかけ算・わり算	帯分数×真分数(約分2回)の計算ができる。	81.3	
	真分数÷整数(約分1回)の計算ができる。	75.5	
	真分数÷真分数(約分1回)の計算ができる。	75.1	
	整数÷仮分数(約分1回)の計算ができる。	73.4	
	帯分数×整数×小数の計算ができる。	61.7	
分数のかけ算・わり算	除法の性質を用いて、分数の除法をしている。	59.0	
分数のかけ算・わり算	基準量が分数の場合において、分数倍の比較量を求める式を選ぶことができる。	70.7	
	比較量、基準量が分数の場合において、比較量が基準量の何倍になるかを求める式を選ぶことができる。	53.4	
分数のかけ算・わり算	分数をかける乗法の問題場面を理解し、数量の関係を数直線に表すことができる。	45.6	
	分数の乗法の文章問題にあった式を選ぶことができる。	61.1	
文字と式	文字を使って、2つの数量の関係を1つの式に表している。	65.8	
	2つの文字を使って表された式で、一方の文字の値から他方の文字の値を求めることができる。	69.5	
文字と式	文字を使った式が表す場面を選んでいく。	60.8	
拡大図と縮図	図形の縮図について理解している。	69.0	
	拡大図の性質を理解し、線分の長さを求めることができる。	57.0	
対称な形	縮図を使って、実際の長さを求めている。	52.3	
	線対称な図形の対応する点について理解している。	39.9	
面積と体積	点対称な図形の、対応する2つの点を結んだ直線の長さについて理解している。	86.5	
	点対称な図形について理解し、作図することができる。	65.3	
比と比の値	半径が与えられた円の面積を求める式を理解している。	89.0	
	円と四角形を組み合わせた図形の面積を求めることができる。	57.7	
比と比の値	角柱の体積を求めることができる。	68.7	
	等しい比について理解している。	16.5	
データの活用	比の値について理解している。	53.5	
	ドットプロットから、最頻値を読み取ることができる。	79.5	
比と比の値	度数分布表を完成させることができる。	87.8	
	ヒストグラムの特徴をもとに、平均値付近の記録がいちばん多いわけではないことを説明している。	39.1	
比と比の値	比を使って、一方の量から他方の量を求めている。	31.4	
	比を使って、全体の量から一方の量を求めている。	68.8	

比の意味や表し方の理解に課題がある。比の指導にあたっては、具体的な場面と関連付けながら、比の相等とそれらの意味について理解することが重要である。また、比は、比例や反比例、縮図・拡大図等の指導と関連付けながら指導し、相互に理解を深めていくことが重要である。

(2) 中学校

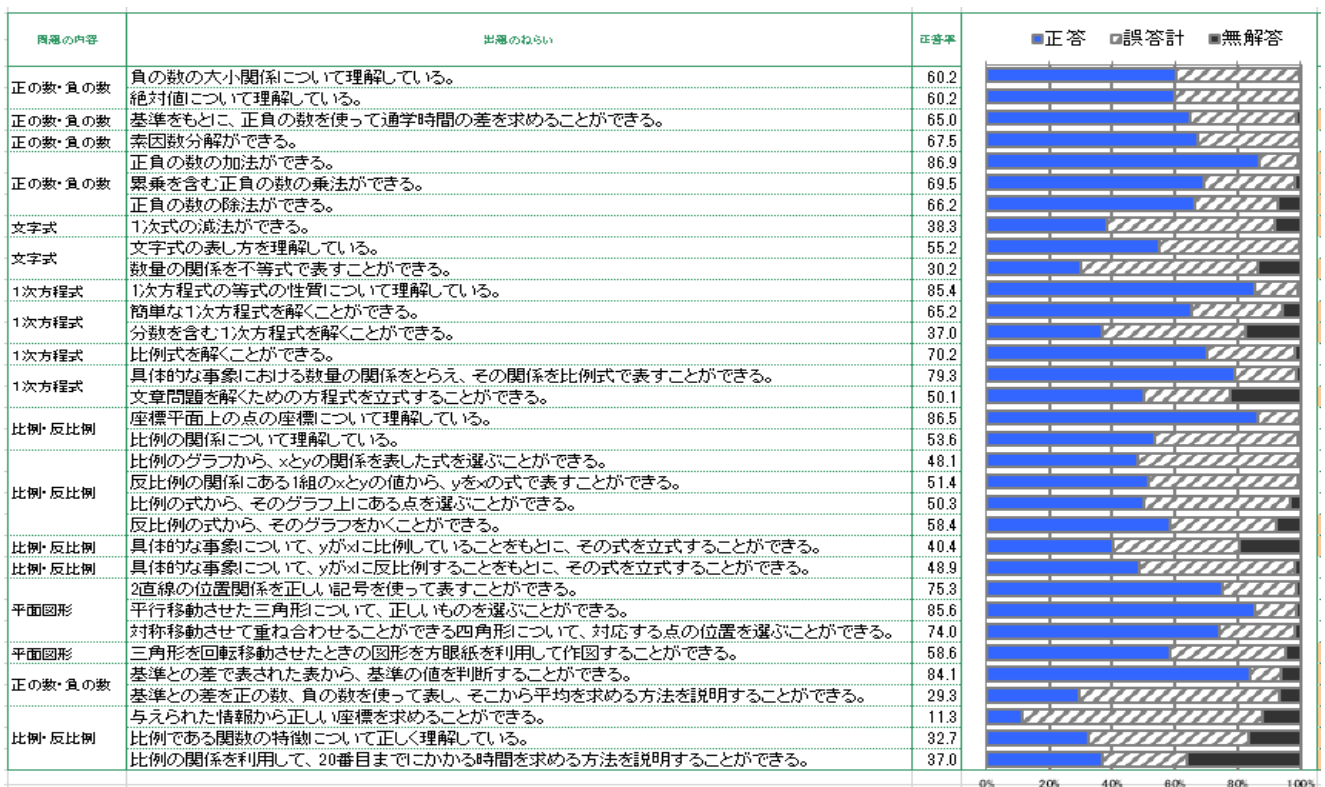
ア 第1学年

【国語】



情報と情報との関係について理解し、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫することに課題がある。指導にあたっては、本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを根拠を明確にしなが文章を書かせることが重要である。

【数学】



座標の意味についての理解に課題がある。座標の意味としては、直交した2本の数直線によって平面上の点が一意的に表されることを理解することが重要である。指導にあたっては、関係する二つの数量について、一方の値を決めれば他方の値がただ一つ決まるといった関数関係の意味理解と関連付けながら理解を深めていくことが重要である。

【英語】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■正答 ■誤答計 ■無解答
リスニング(内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(もの位置)	87.8	
	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(時間帯と行動)	88.2	
	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(日課)	76.3	
リスニング(対話文の応答)	対話を聞き、対話の概要を捉えて、適切に回答している。(自分も同じ競技をすと言われて)	74.7	
	対話を聞き、その内容を理解して、適切に回答している。(飼犬をかわいいと言われて)	76.2	
	対話を聞き、対話の概要を捉えて、適切に回答している。(自分のペンを持っていないと言われて)	39.5	
リスニング(さまざまな英文の聞き取り)	日常的な話題について聞き、必要な情報を把握している。	79.4	
リスニング(対話文の応答)	対話を聞き、必要な情報を聞き取り、資料をもとに英語で答えている。	6.5	
	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(人称代名詞(主格))	53.4	
	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(主語が複数の場合の一般動詞の疑問文)	25.8	
語形・語法の知識・理解	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(疑問詞which)	65.2	
	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(3人称単数現在の一般動詞の形)	55.1	
	英語の情報を読み取り、その内容を理解している。	90.5	
さまざまな英文の読み取り	メールを読み、必要な情報を把握して適切な写真を選んでいる。	67.3	
	メールの要点を理解し、相手の意向に適切に対応している。	75.1	
	対話を読み、対話の流れと表から、必要な情報を把握して文脈に応じた内容を判断している。	54.3	
長文の読み取り	スピーチを読み、代名詞の内容を理解している。	41.9	
	スピーチを読み、その内容を理解している。	51.3	
	スピーチを読み、その要点を捉えている。	57.3	
	スピーチを読み、概要を捉えて感想を述べている。	53.9	
単語の並べかえによる英作文	文の語順を理解し、正確に書いている。(否定の命令文)	83.2	
	文の語順を理解し、正確に書いている。(whoseの疑問文)	20.3	
	文の語順を理解し、正確に書いている。(3人称単数現在の一般動詞の否定文)	44.8	
場面に応じて書く英作文	文の語順を理解し、正確に書いている。(形容詞+名詞)	59.9	
	対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書いている。(how manyを使って数をたずねる)	65.4	
	対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書いている。(what sportを使ってスポーツ名をたずねる)	72.2	
3文以上の英作文	自分が好きな季節について、相手に伝わるように書いている。	19.2	
	自分が好きな季節について、その理由や説明を、相手に伝わるように書いている。	18.4	
	自分が好きな季節について、まとまった内容で紹介する文を、相手に伝わるように書いている。	67.6	
		59.4	
		47.6	

対話を聞き、必要な情報を聞き取ることや、対話の流れに合った英文を書くことに課題がある。指導にあたっては、相手から聞き取った情報等について、単語や短い語句で関連付けて整理するとともに、その情報をもとに英文を書く等、領域を統合した活動を行うことが重要である。

イ 第2学年

【国語】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■正答 ■誤答計 ■無解答
話の内容を聞き取る	論理の展開に注意して、話し手の考えを聞いている。	78.1	
	資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。	74.5	
	論理の展開に注意して、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。	47.5	
漢字を読む	第2学年までに学習した漢字を正しく読んでいる。	94.8	
		81.5	
		98.3	
漢字を書く	小学校で学習した漢字を正しく書いている。	51.4	
		61.5	
		63.2	
文法・語句に関する事項	文の成分について理解している。	74.5	
	行書の特徴について理解している。	28.7	
	現代語訳を手掛かりに古典を読んでいる。	51.3	
説明的な文章の内容を読み取る	故事成語について理解している。	88.1	
	文章全体と部分との関係に注意しながら内容を捉えている。	48.6	
	文章の構成や論理の展開について考えている。	70.5	
文学的な文章の内容を読み取る	情報と情報との関係について理解し、目的に応じて複数の情報を整理しながら内容を解釈している。	16.5	
	登場人物の言動の意味について考えて、内容を解釈している。	71.3	
	文章の表現の効果について考えている。	61.5	
調べたことをもとにレポートを書く	文章を読んで考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを深めている。	52.0	
	伝えたいことが分かりやすく伝わるように、文章の構成を工夫している。	68.6	
	自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	55.0	
文章を書く	情報と情報との関係について理解し、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	33.5	
	指定された長さで文章を書いている。	49.5	
	2段落構成で文章を書いている。	52.0	
	自分の考えを明確にして書いている。	47.9	
		55.2	

情報と情報との関係について理解し、目的に応じて複数の情報を整理しながら内容を解釈することに課題がある。指導にあたっては、報告や解説などの文章を読み、理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめたりする活動をとおして、複数の情報を整理しながら適切な情報を得られるよう指導することが重要である。

## 【数学】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■正答 ■誤答計 ■無解答
式の計算	2つの文字を含む式について、式を簡単にし数を代入して式の値を求めることができる。	46.8	
式の計算	等式を変形して、式のある文字について解くことができる。	53.1	
式の計算	多項式の同類項をまとめる計算ができる。	72.5	
式の計算	単項式の乗法と除法の混じった式の計算ができる。	63.2	
式の計算	分数を含む多項式の計算ができる。	41.2	
連立方程式	加減法を理解し、それを使って連立方程式を解くことができる。	82.8	
連立方程式	代入法を理解し、それを使って連立方程式を解くことができる。	58.5	
連立方程式	A=B=Cの形の方程式を解くことができる。	61.2	
連立方程式	与えられた文章問題に対して、適切な連立方程式を立式することができる。	50.7	
連立方程式	連立方程式を利用して、文章問題を解くことができる。	36.3	
1次関数	1次関数のグラフから、1次関数の変化の割合を求めることができる。	70.9	
1次関数	1次関数の式から、xの増加量に対するyの増加量を求めることができる。	61.4	
1次関数	1次関数の関係を表す表から、傾きや切片の値の正負を判断し、正しいグラフを選ぶことができる。	64.1	
1次関数	1次関数の式から、グラフをかくことができる。	70.2	
1次関数	グラフが通る2点の座標から、1次関数の式を求めることができる。	61.7	
1次関数	グラフの切片と、1点の座標から1次関数の式を求めることができる。	51.9	
1次関数	2元1次方程式の解を座標とする点の全体を表したグラフを選ぶことができる。	34.9	
1次関数	グラフがy軸に平行な方程式を選ぶことができる。	52.7	
1次関数	2つの1次関数のグラフの交点の座標を求めることができる。	54.7	
1次関数	標高と山の頂上の気温の関係を式で表すことができる。	37.3	
1次関数	原点とある1次関数のx軸、y軸との交点からできる三角形について、面積を求めることができる。	46.3	
図形の性質	図からある角の錯角を選ぶことができる。	52.7	
図形の性質	補助線をひいて、平行線と錯角の関係を利用して角の大きさを求めることができる。	70.0	
図形の性質	三角形の内角、外角の性質について理解し、角の大きさを求めることができる。	73.3	
図形の性質	証明の必要性和意味を理解している。	31.6	
証明	与えられた事柄から、角が等しくなる根拠を判断することができる。	70.3	
証明	与えられた事柄から、正しい三角形の合同条件を判断することができる。	84.8	
式の計算	説明を読み、示された式の別の意味を示すことができる。	46.6	
式の計算	困んだ数の和が、5の倍数であることの説明を完成することができる。	46.9	
式の計算	文字を使った式から、どのような形で困んだかを表現することができる。	32.9	
1次関数	切片がどのような数量を表しているかを説明することができる。	43.2	
1次関数	設定を切り替える時間を、グラフを用いて求める方法について、説明することができる。	34.3	

式を用いて表したり読み取ったりすることに課題がある。式を用いて表したり、読み取ったりするためには、文字が表す数量とその関係を理解できるようにする必要がある。指導にあたっては、文字を具体的な数に置き換えて考えるなど、数量の関係を把握できるようにすることが大切である。

## 【英語】

問題の内容	出題のねらい	正答率	■正答 ■誤答計 ■無解答
リスニング(内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(公園の様子)	81.0	
リスニング(内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(時と動作)	87.7	
リスニング(内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き、その内容を理解している。(テレビ番組の予定)	71.2	
リスニング(対話文の応答)	対話を聞き、対話の概要を捉えて、適切に回答している。(野球の試合で雨が降るかもしれないと言われて)	36.1	
リスニング(対話文の応答)	対話を聞き、対話の概要を捉えて、適切に回答している。(何をしたかたずねられて)	29.3	
リスニング(対話文の応答)	対話を聞き、対話の概要を捉えて、適切に回答している。(一緒に参加してよいかたずねられて)	67.8	
リスニング(さまざまな英文の聞き取り)	日常的な話題について聞き、要点を捉えている。	52.3	
リスニング(さまざまな英文の聞き取り)	日常的な話題について聞き、必要な情報を把握している。	43.4	
リスニング(対話文の応答)	英文を聞き、その要点を捉えて、自分の考えを英語で答えている。	36.8	
読解(対話文の理解)	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(There is/are ~の疑問文)	50.5	
読解(対話文の理解)	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(形容詞的用法の不定詞)	74.3	
読解(対話文の理解)	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(前置詞for)	69.7	
読解(対話文の理解)	対話文を読み、文構造や文法事項を理解している。(助動詞mustの否定文)	41.8	
読解(長文の理解)	対話文の情報を読み取り、その内容を理解している。	64.5	
読解(長文の理解)	対話文の情報を読み取り、その内容を理解している。	80.2	
読解(さまざまな英文の読み取り)	英文を読み、概要を捉えて適切なスライドを選んでいる。	49.6	
読解(さまざまな英文の読み取り)	英文を読み、必要な情報を把握して、適切な時刻を判断している。	58.8	
読解(さまざまな英文の読み取り)	対話を読み、対話の流れと資料から、適切な内容を選んでいる。	22.1	
読解(さまざまな英文の読み取り)	対話を読み、対話の流れと資料から、文脈に応じた語句を判断している。	34.7	
読解(長文の読み取り)	スピーチを読み、下線部分に指す内容を理解している。	58.8	
読解(長文の読み取り)	スピーチを読み、その内容を理解している。	44.5	
読解(長文の読み取り)	スピーチを読み、その要点を把握している。	68.1	
読解(長文の読み取り)	スピーチを読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書いている。	27.3	
読解(単語の並べかえによる英作文)	文の語順を理解し、正確に書いている。(接続詞thatの文)	77.6	
読解(単語の並べかえによる英作文)	文の語順を理解し、正確に書いている。(SV00の文)	50.0	
読解(単語の並べかえによる英作文)	文の語順を理解し、正確に書いている。(動名詞の文)	66.0	
読解(単語の並べかえによる英作文)	文の語順を理解し、正確に書いている。(副詞的用法の不定詞)	20.1	
読解(場面に応じて書く英作文)	対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書いている。(whichを使ってどれが好きかをたずねる)	42.8	
読解(場面に応じて書く英作文)	対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書いている。(what timeを使って未来の時刻をたずねる)	25.7	
読解(3文以上の英作文)	旅行でおすすめの場所について、相手に伝わるように書いている。	50.0	
読解(3文以上の英作文)	旅行でおすすめの場所について、その理由や説明を、相手に伝わるように書いている。	49.9	
読解(3文以上の英作文)	旅行でおすすめの場所について、まとまった内容で紹介する文を、相手に伝わるように書いている。	35.3	

対話を読み、対話の流れと資料から、適切な内容を選ぶことや、文脈に応じた語句を判断することに課題がある。指導にあたっては、コミュニケーションにおける、目的・場面・状況を明確にした言語活動を設定するとともに、複数の情報や資料の中から、場面や状況、対話の流れに応じて、必要な情報を捉える活動を行うことが重要である。

## IV まとめ

### (1) 成果

小学校では、国語における「読むこと」の領域、算数における「図形」の領域において、正答率が高い。このことは、各校で作成されている「学力向上プラン」において、学力向上のための授業改善策として、少人数指導や習熟度別指導などの個の実態に応じた学習形態の工夫や、一部教科の教科担任制などに継続的に取り組んできた成果であると考えられる。

中学校では、国語における「書くこと」の領域や、数学における「関数」の領域において正答率が高く、学力向上プランに基づいた授業改善や、個別最適な学びや協働的な学びを軸とした、主体的・対話的で深い学びの実践が進められていると考えられる。

### (2) 課題

小学校において、国語における「書くこと」の領域や、中学校において、英語における「読むこと」の領域に課題が見られる。

小学校国語の「書くこと」においては、身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動を行なうことが重要であると考えられる。また、中学校英語の「読むこと」においては、読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら理解していくとともに、読み取った内容を相手に伝えたり、意見や理由を述べたりすることが重要であると考えられる。

### (3) 今後の取組

#### ア 学力調査結果の効果的な活用

各校では、学力調査結果を基に、児童生徒一人一人の課題を的確に把握するとともに、学力調査分析結果を効果的に活用するなど、よりきめ細やかな指導が実施できるよう授業改善を行う。

上尾市教育委員会では、学力調査結果から焦点化された課題について、具体的かつ効果的な取組が行われるよう、「学力向上プラン」の内容について精査する。さらに、学校訪問や研修会等を通じて、各校で作成された「学力向上プラン」を踏まえ、教員一人一人が学習指導の工夫・改善を図ることができるよう積極的に支援を行っていく。

#### イ 「学力向上プラン」を軸としたCAPDサイクルの確立

4月及び5月に実施される国や県の学力・学習状況調査と、12月及び1月に実施される上尾市の学力調査のそれぞれの結果に基づき、各校で作成されている「学力向上プラン」の見直しを年2回行う。定期的に「学力向上プラン」を見直すことで児童生徒の状況を的確に把握し、教育課程の編成や学習指導の工夫、改善を行うなど、課題に対して早期に改善策を講じることができるようにする。



Check	上尾市学力調査結果から、各学年の学習内容の定着の様子や取組の成果を分析する。
Act	各学年で取り組むべき課題を焦点化し、年度内に手立てを講じる。
Plan	授業改善の視点や具体的な手立てを検討し、4月から実施するプランを作成する。
Do	「学力向上プラン」に基づき、授業改善と学力向上の取組を実施する。
Check	国・県の学力調査で、自校の課題や学力の伸びを分析する。
Act	問題を解くために求められる力や学力の伸ばした取組を把握する。
Plan	学力を伸ばす手立てを検討し、10月から実施するプランを作成する。
Do	「学力向上プラン」に基づき、授業改善と学力向上の取組を実施する。